

〔記載例 12〕

様式第9号

障害補償年金請求書
 障害特別支給金申請書
 障害特別援護金申請書
 障害特別給付金申請書

1号紙

		認定番号	○○○○○○			
地方公務員災害補償基金 岡山県 支部長 殿 下記の障害補償年金（障害特別支給金） 障害特別援護金 を 障害特別給付金 請求（申請）します。		請求（申請）年月日 平成 ○○年 ○○月 ○○日 請求（申請）者の住所 ○○市○○町○○番地 ふりがな おかやま たろう 氏名 岡山太郎 (印)				
1 被災職員に関する事項	所属団体名	○○市		所属部局名	○○部○○課	
	氏名	岡山太郎 S○○年○○月○○日生（○○歳）		職名	○○ <input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 常勤の非常勤	
	負傷又は発病の年月日	平成 ○○年 ○○月 ○○日		治癒年月日	平成 ○○年 ○○月 ○○日	
2	障害の部位及びその程度 右下肢を足関節以上で切断					
3	既存障害とその程度 なし					
4	障害等級 第 5 級 5 号					
5	障害補償年金請求金額 (平均給与額) (日数) 11,539 円 × 184 = 2,123,176 円					
6	旧国民年金法の受給関係 <input type="checkbox"/> 被保険者であった。 <input checked="" type="checkbox"/> 被保険者ではなかった					
7	障害特別支給金 申請金額等 障害特別支給金 2,250,000 円 傷病特別支給金 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 障害特別援護金 申請金額等 障害特別援護金 5,500,000 円 の受給の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無					
8	障害特別給付金申請金額の計算 (平均給与額) (日数) (A) 11,539 円 × 184 × $\frac{20}{100}$ = 424,635 円 (B) 1,500,000円 × $\frac{184}{365}$ = 756,164 円					
	9	障害特別給付金申請金額 424,635 円				
10 送金希望の場合	振込み	振込先金融機関名	○○銀行○○支店		* 年金決定年額	法第30条の制限 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		<input checked="" type="checkbox"/> 普通預金 <input type="checkbox"/> 当座預金			* 特別支給金決定金額	円
		口座番号	○○○○		* 特別援護金決定金額	円
	預金名義者	岡山太郎		* 特別給付金決定年額	円	
送金小切手	受取先金融機関名	銀行 支店		* 通知	平成 年 月 日	
その他			* 年金証書の番号	第 号		
* 受理	平成 年 月 日		* 年金特別給付金支給開始年月	平成 年 月		
* 障害等級	第 級 号		* 特別支給金特別援護金の支払	平成 年 月 日		

〔注意事項〕

- 請求（申請）者は、*印の欄には記入しないこと。また、該当する□にレ印を記入すること。
- 「3 既存障害とその程度」の欄には、新たに既存の障害の程度を加重した場合にのみ記入するものとし、既存障害について障害補償を支給された場合は、その該当等級を明記すること。
- 「7 障害特別支給金申請金額等 障害特別援護金申請金額等」の欄の「傷病特別支給金の受給の有無」の項は、同一の傷病に係る傷病特別支給金についての受給の有無を記入すること。
- 「8 障害特別給付金申請金額の計算」の欄の記入については、常勤の非常勤職員にあっては別に定めるところによること。
- 「9 障害特別給付金申請金額」の欄には、「8 障害特別給付金申請金額の計算」の欄の(A)の金額（(A)の金額が(B)の金額を超える場合には、(B)の金額）を記入すること。
- 「平均給与額算定書（2号紙）」には、この請求に係る平均給与額についての算定内訳を記入すること。
- この請求書を提出するときに、請求する障害補償年金と同一の事由によって国民年金法等の一部を改正する法律（昭和60年法律第34号）附則第32条第1項に規定する年金たる給付に該当する障害年金の給付を受けている場合には、その年金の種類、年額、支給開始年月、年金証書の記号番号及び所轄社会保険事務所名等を記載した書類を添付すること。
- この請求書には、治癒の時期の決定及び障害等級の決定に必要な医師の診断書、X線写真その他の資料を添付すること。
- 「請求（申請）者の氏名」の欄は、記名押印することに代えて、自筆による署名をすることができる。